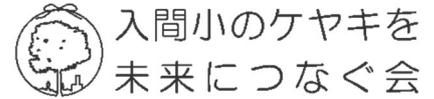


2023年9月5日

報道機関 各位



署名最終提出で累計 17,628 筆に

— 概要 —

- ✓ 4月に「旧入間小のケヤキとイオンとの共存を求める署名」を締切（既報）
- ✓ 第5次分の署名 112筆（オンライン+紙）を最終提出し累計 17,628筆に
- ✓ 当会は今後、ケヤキを活用した地域づくりを展開

入間小学校跡利活用事業（入曽駅周辺整備事業の一部、狭山市による複合商業施設誘致）における市やイオンリテール（株）の計画変更を受けて、入間小のケヤキを未来につなぐ会は4月に「旧入間小のケヤキをイオンとの共存を求める署名」を終了することを宣言しました（既報）。

当会は、前回署名提出（第4次提出）から署名終了までにオンライン署名サイト



当会代表（写真左）から都市建設部長への提出の様子

「change.org」で寄せられた賛同者のリストと署名用紙で寄せられた直筆の署名を合わせた **112筆を8月21日、狭山市長に提出**しました（署名原本は都市建設部市街地整備課に提出）。同時に、賛同者から寄せられた **コメントや意見を載せた85件の声も提出**しました。昨年6月の署名活動開始から終了までに寄せられた署名総数は **17,628筆**となりました。今回の最終提出をもって、当会は **署名活動のすべてを終了**しました。

署名と声の内訳

【署名（第5次提出分）】

	第4次 (2023/1/25)	第5次 (2023/4/2)	累計 303日間
	58日間集計	67日間集計	
オンライン署名（change.org）賛同者数	73名	58名	16,126名
紙の署名数	142筆	54筆	1,502筆
合計	215筆	112筆	17,628筆



【寄せられた声】

85 件

署名の効果

今回の一連の署名活動で得られた成果は、当初 市が事業者に課していたケヤキ伐根の条件を保留し**ケヤキを残したままで施設建設を認める内容に変更を促した**ことです。このケヤキの取り扱いの変更は、署名による効果に加えてイオン（株）の岡田元也会長から市に複数回打診があったことも一因とみられています。

今後の取り組み

一方で、書面上はケヤキの**伐根を 1 年ごとに猶予するという取り決め**であることから、当会の要請内容である「ケヤキの保存を前提」とする計画にはなっていません。当会は引き続き、長期的な**ケヤキ保存を前提とした市の積極的な関与を求めて**関係各所への働きかけを続けていきます。

また当会は今後、**ケヤキを通して入曽の地域づくりに寄与できる活動**を行っていきます。ケヤキをきっかけに地域史を考える機会を提供し、**地域史継承**の役割を担っていきます。また、ケヤキにちなんだイベントを開くなどして、**入曽の多世代交流や新しい文化の醸成、緑地保全の啓発**が行えるような活動に取り組んでいきます。

【実施済みのイベント】

- 2023 年 1 月 あしたの入曽会議（詩「つぶやくけやき」の朗読、入間小関係者の思い出の講演、杉並区西荻のケヤキの絵本朗読劇）
7 月 イリマジロ（入曽駅前の古民家でフォトブックや写真の展示）

【予定・企画中のイベント】

- 2023 年 11 月 入曽地域交流センター文化祭（写真や詩・フォトブックの展示）
（企画中） ケヤキの音楽祭（バイオリン、馬頭琴・ホーミーなど）



この件に関する
お問い合わせ先

電話 050-3635-1920（代表 福住）
Eメール keyakinomirai1920@gmail.com

WEBサイトニュースページ（<https://keyakinomirai.com/newsroom/>）はこちら▶

